とりぎん

第139回

鳥取県企業動向調査

平成27年
11～12月調査

景況感は、製造業は好転幅拡大、非製造業は悪化に転じる

先行きは、製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅拡大へ

目　次

			ページ
調査要領			1
1.	概況	----------	2
2.	業況判断	製造業は好転幅拡大し、非製造業は悪化に転じる	3
3.	売上	製造業は増加幅縮小し、非製造業は減少に転じる	3
4.	受注	製造業は増加幅拡大し、建設業は増加幅縮小	4
5.	経常利益	製造業は減少に転じ、非製造業は増加に転じる	4
6.	在庫	製品在庫、商品在庫、原材料在庫全てで過剰感が上昇	4
7.	販売価格・仕入価格	販売価格、仕入価格ともに上昇幅縮小	5
8.	資金繰り・借入金残高	借入金で製造業は減少幅縮小、非製造業は減少幅拡大	5
9.	雇用	製造業は不足感増加、非製造業は不足感減少	6
10.	設備投資	製造業、非製造業ともに前年比減、目的は、補修・更新が主	6
11.	経営上の問題点	製造業、非製造業ともに「売上・受注の減少」が上位	7
12.	アンケート調査結果	2015年冬季ボーナスの支給（予定）について	11

TOTTORI BANK 青い鳥の銀行です。鳥取銀行

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所

㊀680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857−37−0220

R100 古紙配合率100%再生紙を使用しています

○調 査 要 領

調 査 目 的　鳥取県内の企業動向を調査し、県内景気の現状及び先行きを把握するため
調 査 対 象　県内企業207社、回答企業80社、回答率38.6％
調 査 方 法　各支店を通じるか、または郵送による記名式回答
調査対象期間　平成27年7 ～ 9月実績及び平成27年10 ～ 12月予想
調 査 時 点　平成27年11月中旬～ 12月中旬

○業種別回答企業数

		回答企業数	構成比	うち中小企業	構成比
製造業	食料品	10	12.5	10	100.0
	繊維・縫製	0	0.0	—	—
	木材・木製品	2	2.5	2	100.0
	紙・紙加工品	2	2.5	2	100.0
	窯業・土石	5	6.3	5	100.0
	金属・機械	10	12.5	10	100.0
	電気機械	6	7.5	6	100.0
	印刷・その他	7	8.8	7	100.0
	計	42	52.5	42	100.0
非製造業	建設業	8	10.0	7	87.5
	卸売業	15	18.8	14	93.3
	小売業	7	8.8	5	71.4
	運輸業	5	6.3	5	100.0
	旅館・ホテル	3	3.8	3	100.0
	計	38	47.5	34	89.5
全部門合計		80	100.0	76	95.0

注：中小企業の範囲
製造業・建設業・運輸業… 資本金3億円以下または従業員300人以下の企業
卸　　売　　業……資本金1億円以下または従業員100人以下の企業
小　　売　　業……資本金5千万円以下または従業員50人以下の企業
サ　ー　ビ　ス　業……資本金5千万円以下または従業員100人以下の企業

ＢＳＩとは

ビジネス・サーベイ・インデックスは業況や売上など項目ごとに、企業経営者の「好転」、「不変」、「悪化」の判断を集計し指標化したもので、時系列的に景気の動きを把握するもの。ＢＳＩがプラスならば全体として「良い・上昇・好転」とみなされ、逆にマイナスは「悪い・低下・悪化」と判断できる。

1　概　況……県内景況感は、製造業は好転幅拡大、非製造業は悪化に転じる
先行きの景況感は、製造業は悪化に転じ、非製造業は悪化幅拡大見込み

本件調査によると、平成27年7～9月の「自社業況の総合判断」は、前期（平成27年4～6月）に比べて製造業では、金属・機械等で好転幅が拡大したことなどから、0.3ポイント上昇。非製造業では、小売業で悪化に転じたことなどから、11.2ポイント低下。全産業では±0.0と前期（+4.9）より4.9ポイント低下し、好転幅は縮小した。また、前回調査時（9月）の予想（+4.3）よりも4.3ポイント好転幅が縮小した。

先行き平成27年10～12月の景況感は、製造業では、紙・紙加工品、金属・機械で悪化に転じることなどから10.8ポイント低下。非製造業では、建設業で悪化に転じることなどから4.1ポイント低下する。全産業では7.6ポイント低下する見込み。

1. 業種別の景況（詳細はP.3上段をご覧下さい）

製造業の景況感は、前期比0.3ポイント上昇し、2四半期連続の好転となった。（+3.3→+3.6）

非製造業の景況感は、前期比11.2ポイント低下し、2四半期ぶりに悪化に転じた。（+7.2→▲4.0）

2.売上高の景況（詳細はP.3下段をご覧下さい）

製造業では、前期比1.1ポイント低下した。
非製造業では、前期比21.5ポイント低下した。
全産業では、前期比10.2ポイント低下した。
（+4.9→▲5.3）

3.受注高の景況（詳細はP.4上段をご覧下さい）

製造業では、前期比0.3ポイント上昇した。
建設業では、前期比2.0ポイント低下した。
全産業では、前期比0.3ポイント上昇した。
（+2.9→+3.2）

4.経常利益の景況（詳細はP.4中段をご覧下さい）

製造業では、前期比11.2ポイント低下した。
非製造業では、前期比6.9ポイント上昇した。
全産業では、前期比3.0ポイント低下した。
（+4.3→+1.3）

5.販売価格、仕入価格の景況（詳細はP.5上段をご覧下さい）

■販売価格

製造業では、前期比5.9ポイント低下した。
非製造業では、前期比1.6ポイント上昇した。
全産業では、前期比2.5ポイント低下した。
（+2.5→±0.0）

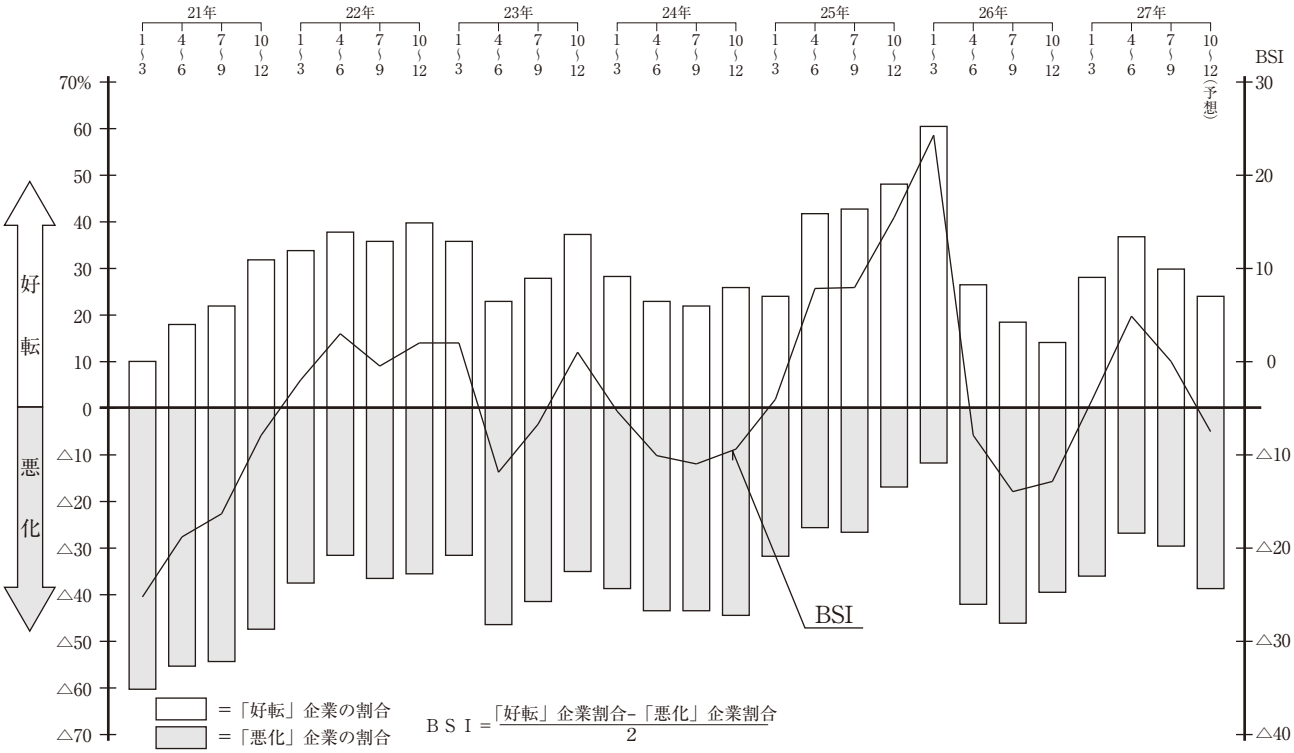
■仕入価格

製造業では、前期比1.7ポイント低下した。
非製造業では、前期比1.4ポイント上昇した。
全産業では、前期比0.3ポイント低下した。
（+12.0→+11.7）

6.経営上の問題点（詳細はP.7下段をご覧下さい）

大きいものから2項目選択した上位項目（全産業）
「売上・受注の減少」…41%の企業が選択した。
「先行き見通し難」…29%の企業が選択した。
「労働力不足」…26%の企業が選択した。
「過当競争」…20%の企業が選択した。
「仕入価格の上昇」…19%の企業が選択した。

図－1　自社業況の総合判断の推移



2　業況判断……製造業は好転幅拡大し、非製造業は悪化に転じる

「自社業況の総合判断」BSI※「(好転の割合ー悪化の割合)÷2」

27年7～9月は、前回調査比　▲4.9(+4.9→±0.0)
前回(9月)調査の先行き予想比　▲4.3(+4.3→±0.0)
27年10～12月の見込みは、　▲7.6(±0.0→▲7.6)
28年1～3月の見込みは、　+3.7(▲7.6→▲3.9)
自社の業況が前年同期に比べて好転しているか、悪化しているかについて、経営者の判断を示すもの

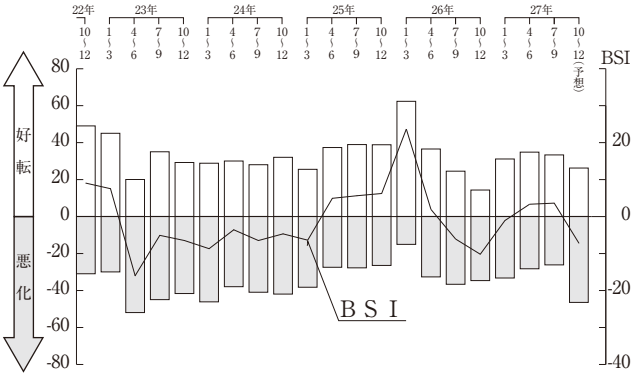
製造業のBSI

27年7～9月は、前回調査比　+0.3(+3.3→+3.6)
上昇した業種：金属・機械、木材・木製品・家具
低下した業種：窯業・土石、紙・紙加工品など
27年10～12月の見込みは、　▲10.8(+3.6→▲7.2)
上昇見込み：電気機械、窯業・土石
低下見込み：紙・紙加工品、金属・機械など
28年1～3月の見込みは、　+4.7(▲7.2→▲2.5)
上昇見込み：紙・紙加工品、木材・木製品・家具など
低下見込み：電気機械、食料品

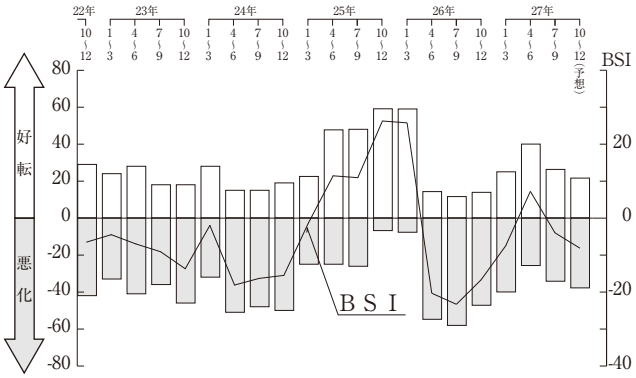
非製造業のBSI

27年7～9月は、前回調査比　▲11.2(+7.2→▲4.0)
上昇した業種：旅館・ホテル
低下した業種：小売業、運輸業など
27年10～12月の見込みは、　▲4.1(▲4.0→▲8.1)
上昇見込み：小売業
低下見込み：建設業、卸売業
28年1～3月の見込みは、　+2.5(▲8.1→▲5.6)
上昇見込み：運輸業、卸売業
低下見込み：小売業

図－2　業況総合判断（製造業）



図－3　業況総合判断（非製造業）



3　売　上……製造業は増加幅縮小し、非製造業は減少に転じる

製造業の売上高BSI

27年7～9月は、前回調査比　▲1.1(+5.0→+3.9)
上昇した業種：電気機械、金属・機械など
低下した業種：印刷・その他、木材・木製品・家具など
27年10～12月の見込みは、　▲17.4(+3.9→▲13.5)
上昇見込み：該当無し
低下見込み：金属・機械、食料品、窯業・土石

非製造業の売上高BSI

27年7～9月は、前回調査比　▲21.5(+4.8→▲16.7)
上昇した業種：該当無し
低下した業種：運輸業、旅館・ホテル、卸売業など
27年10～12月の見込みは、　+7.1(▲16.7→▲9.6)
上昇見込み：旅館・ホテル、運輸業、小売業など
低下見込み：卸売業

売上高にかかる回答の集計（回答企業の加重平均）

全産業（回答42社）

27年7～9月実績は、前年同期比　+3.5%
27年10～12月予想は、同　▲3.5%

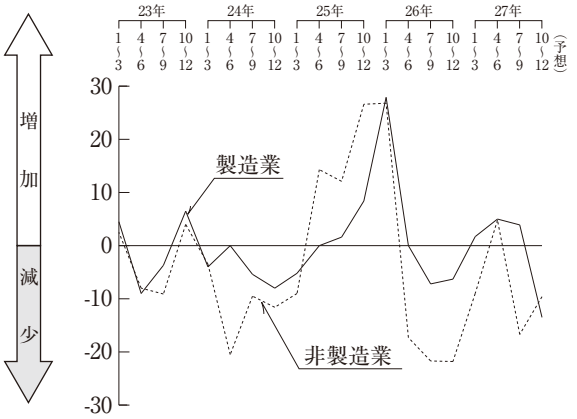
製造業（22社）

27年7～9月実績は、前年同期比　+0.9%
上昇した業種：食料品、金属・機械など
低下した業種：電気機械、窯業・土石
27年10～12月予想は、前年同期比　▲8.4%
上昇見込みの業種：金属・機械、食料品
低下見込みの業種：電気機械、窯業・土石など

非製造業（20社）

27年7～9月実績は、前年同期比　+6.9%
上昇した業種：建設業、小売業など
低下した業種：運輸業
27年10～12月予想は、前年同期比　+3.8%
上昇見込みの業種：建設業、小売業
低下見込みの業種：旅館・ホテル、運輸業など

図－4　売上高のＢＳＩ



4　受　注……製造業は増加幅拡大、建設業は増加幅縮小

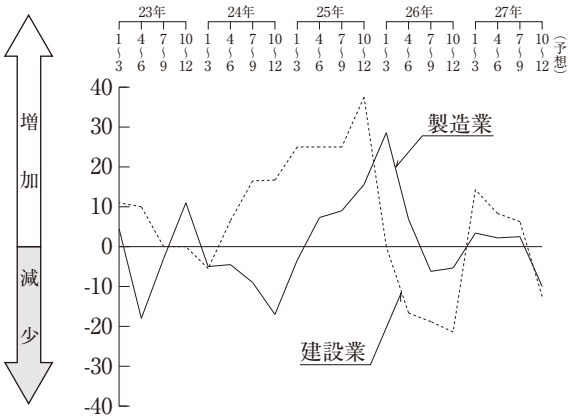
製造業の受注高BSI

27年7～9月は、前回調査比　+0.3（+2.2→+2.5）
上昇した業種：金属・機械、木材・木製品・家具など
低下した業種：窯業・土石、食料品など
27年10～12月の見込みは、　▲12.5（+2.5→▲10.0）
上昇見込み：木材・木製品・家具、電気機械
低下見込み：紙・紙加工品、金属・機械など

建設業の受注高BSI

27年7～9月は、前回調査比　▲2.0（+8.3→+6.3）
27年10～12月の見込みは、　▲18.8（+6.3→▲12.5）

図－5　受注額のBSI



5　経常利益……製造業は減少に転じ、非製造業は増加に転じる

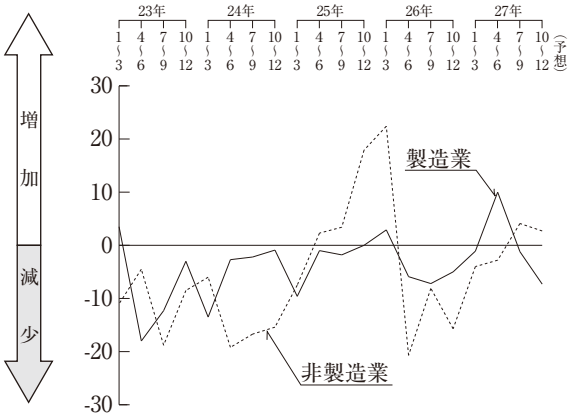
製造業の経常利益BSI

27年7～9月は、前回調査比　▲11.2（+10.0→▲1.2）
上昇した業種：金属・機械
低下した業種：紙・紙加工品、印刷・その他など
27年10～12月の見込みは、　▲6.1（▲1.2→▲7.3）
上昇見込み：食料品
低下見込み：紙・紙加工品、金属・機械など

非製造業の経常利益BSI

27年7～9月は、前回調査比　+6.9（▲2.8→+4.1）
上昇した業種：運輸業、卸売業など
低下した業種：小売業
27年10～12月の見込みは、　▲1.4（+4.1→+2.7）
上昇見込み：旅館・ホテル、小売業
低下見込み：建設業

図－6　経常利益のBSI



6　在　庫……製品在庫、商品在庫、原材料在庫全てで過剰感が上昇

製品在庫BSI「（不足－過剰）÷2」

27年7～9月は、前回調査比　▲1.5（▲2.3→▲3.8）
過剰感が低下した業種：木材・木製品・家具
過剰感が上昇した業種：電気機械、印刷・その他など
不足感が低下した業種：食料品
不足感が上昇した業種：該当なし
27年10～12月の見込みは、　+6.3（▲3.8→+2.5）
過剰感低下見込み業種：電気機械
過剰感上昇見込み業種：印刷・その他
不足感低下見込み業種：該当なし
不足感上昇見込み業種：食料品、金属・機械

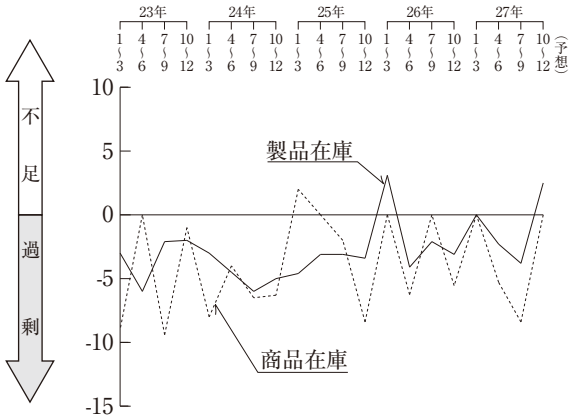
商品在庫BSI

27年7～9月は、前回調査比　▲3.1（▲5.3→▲8.4）
過剰感が上昇した業種：卸売業
過剰感が低下した業種、不足感が低下した業種、
不足感が上昇した業種の該当なし
27年10～12月の見込みは、　+8.4（▲8.4→±0.0）
過剰感低下見込み業種：卸売業、小売業
過剰感上昇見込み業種、不足感低下見込み業種、
不足感上昇見込み業種の該当なし

製造業の原材料在庫BSI

27年7～9月は前回調査比　▲1.3（▲1.1→▲2.4）
過剰感が上昇した業種：木材・木製品・家具、電気機械
過剰感が低下した業種、不足感が低下した業種、
不足感が上昇した業種の該当なし
27年10～12月の見込みは　+4.8（▲2.4→+2.4）
過剰感低下見込み業種：木材・木製品・家具、電気機械
過剰感上昇見込み業種：印刷・その他
不足感低下見込み業種：該当なし
不足感上昇見込み業種：食料品

図－7　製品・商品在庫のBSI

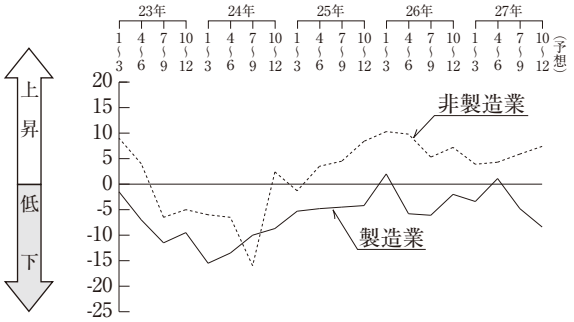


7　販売価格・仕入価格……販売価格、仕入価格ともに上昇幅縮小

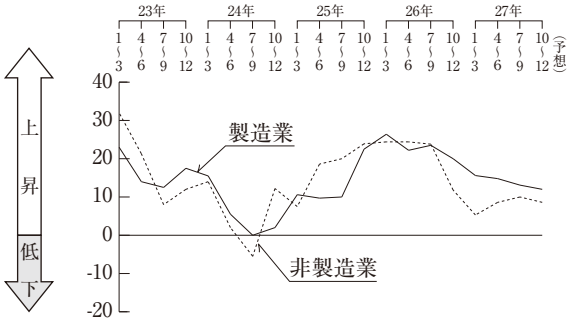
販売価格BSI「（上昇－低下）÷2」
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲2.5（+2.5→±0.0）
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲1.3（±0.0→▲1.3）
製造業の販売価格BSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲5.9（+1.1→▲4.8）
上昇した業種：電気機械
低下した業種：木材・木製品・家具など
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲3.6（▲4.8→▲8.4）
上昇見込み：電気機械
低下見込み：紙・紙加工品、窯業・土石など
非製造業の販売価格BSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　+1.6（+4.3→+5.9）
上昇した業種：旅館・ホテル、建設業
低下した業種：卸売業
27年10 ～ 12月の見込みは　+1.5（+5.9→+7.4）
上昇見込み：運輸業、小売業
低下見込み：卸売業

原材料仕入価格BSI「（上昇－低下）÷2」
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲0.3（+12.0→+11.7）
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲1.3（+11.7→+10.4）
製造業の原材料仕入価格BSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲1.7（+14.8→+13.1）
上昇した業種：木材・木製品・家具
低下した業種：電気機械、印刷・その他など
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲1.1（+13.1→+12.0）
上昇見込み：食料品
低下見込み：電気機械
非製造業の原材料仕入価格BSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　+1.4（+8.6→+10.0）
上昇した業種：運輸業、旅館・ホテルなど
低下した業種：小売業
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲1.4（+10.0→+8.6）
上昇見込み：旅館・ホテル、小売業
低下見込み：運輸業、卸売業など

図－８　販売価格のＢＳＩ



図－９　仕入価格のＢＳＩ

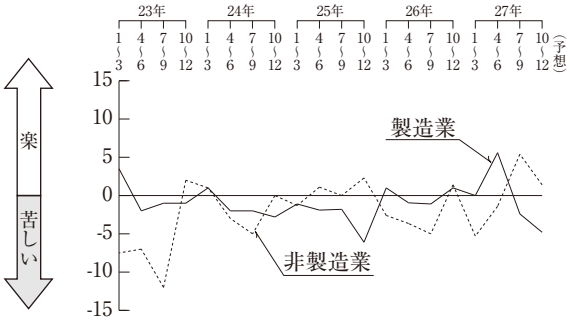


8　資金繰り・借入金残高……借入金で製造業は減少幅縮小、非製造業は減少幅拡大

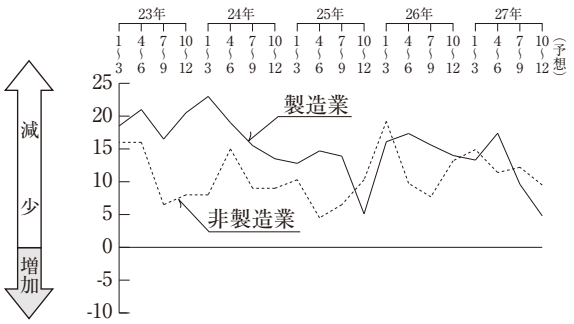
資金繰りBSI「（楽－苦しい）÷2」
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲1.2（+2.5→+1.3）
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲3.2（+1.3→▲1.9）
製造業の資金繰りBSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲8.0（+5.6→▲2.4）
楽になった業種：該当なし
苦しくなった業種：木材・木製品・家具など
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲2.4（▲2.4→▲4.8）
楽になる見込み：電気機械
苦しくなる見込み：木材・木製品・家具など
非製造業の資金繰りBSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　+6.8（▲1.4→+5.4）
楽になった業種：建設業、卸売業
苦しくなった業種：旅館・ホテル
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲4.0（+5.4→+1.4）
楽になる見込み：該当なし
苦しくなる見込み：運輸業、建設業など

借入残高のBSI「（減少－増加）÷2」
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲4.1（+14.9→+10.8）
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲3.8（+10.8→+7.0）
製造業の借入金残高BSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　▲7.8（+17.4→+9.6）
減少した業種：木材・木製品・家具、金属・機械
増加した業種：食料品、電気機械など
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲4.8（+9.6→+4.8）
減少する見込み：電気機械、印刷・その他
増加する見込み：木材・木製品・家具、食料品など
非製造業の借入金残高BSI
27年7 ～ 9月は、前回調査比　+0.8（+11.4→+12.2）
減少した業種：建設業
増加した業種：旅館・ホテル、卸売業
27年10 ～ 12月の見込みは、　▲2.7（+12.2→+9.5）
減少する見込み：卸売業
増加する見込み：建設業、小売業

図－10　資金繰のＢＳＩ



図－11　借入金残高のＢＳＩ



9　雇　用……製造業は不足感増加、非製造業は不足感減少

製造業の常用雇用者BSI「(過剰－不足)÷2」

27年7～9月は、前回調査比　▲3.8(▲2.2→▲6.0)

過剰感が増加した業種：木材・木製品・家具など
過剰感が減少した業種：窯業・土石
不足感が増加した業種：電気機械、食料品など
不足感が減少した業種：該当なし

27年10～12月の見込みは、　+3.6(▲6.0→▲2.4)

過剰感増加見込み業種：窯業・土石
不足感減少見込み業種：金属・機械
過剰感減少見込み業種、不足感増加見込み業種の該当なし

非製造業の常用雇用者BSI

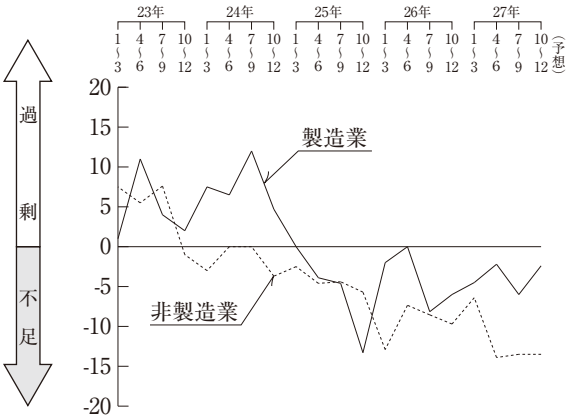
27年7～9月は、前回調査比　+0.4(▲13.9→▲13.5)

不足感が増加した業種：運輸業、旅館・ホテル
不足感が減少した業種：小売業、建設業
過剰感が増加した業種、過剰感が減少した業種の該当なし

27年10～12月の見込みは、　±0.0(▲13.5→▲13.5)

過剰感増加見込み業種、過剰感減少見込み業種、不足感増加見込み業種、不足感減少見込み業種の該当なし。

図－12　雇用(常用雇用者)のBSI



10　設備投資……製造業、非製造業ともに前年比減、目的は、補修・更新が主

27年7～9月：回答企業の41%が設備投資を実施。
前年同期実績(48%)より7ポイント下回った。
27年10～12月：回答企業の49%が設備投資を計画。
前年同期実績(47%)より2ポイント上回る見込み。

業種別設備投資企業割合

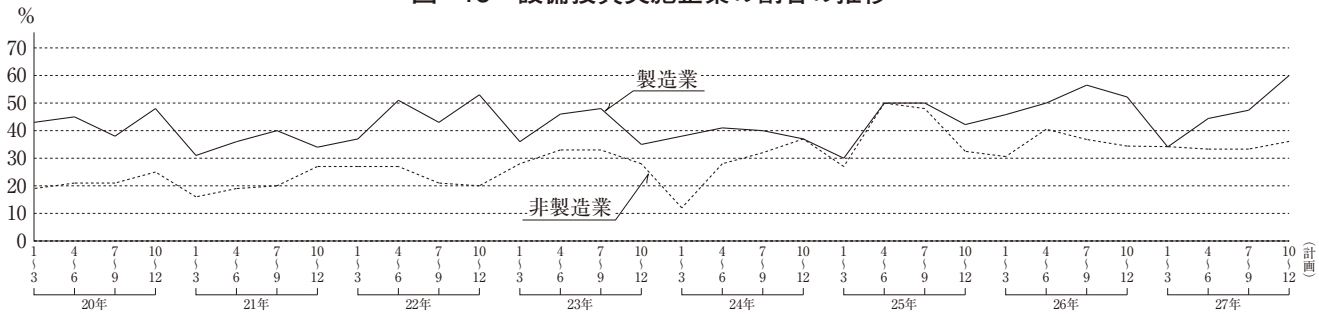
(　)内は前年同期実績:単位%

		27年4～6月 実績		27年7～9月 実績		27年10～12月 計画	
全産業		40	(46)	41	(48)	49	(47)
製造業	食料品	71	(71)	67	(56)	78	(44)
	繊維・縫製	—	(0)	—	(0)	—	(0)
	木材・木製品	25	(33)	0	(50)	0	(0)
	紙・紙加工品	33	(75)	50	(67)	0	(33)
	窯業・土石	0	(0)	20	(17)	80	(0)
	金属・機械	45	(70)	50	(83)	78	(92)
	電気機械	60	(55)	67	(50)	67	(38)
	印刷・その他	40	(38)	33	(60)	29	(60)
製造業		44	(50)	47	(57)	60	(49)
非製造業	建設業	67	(20)	13	(29)	13	(50)
	卸売業	13	(33)	23	(17)	23	(33)
	小売業	43	(57)	43	(50)	71	(50)
	運輸業	40	(75)	80	(60)	60	(75)
	旅館・ホテル	33	(33)	33	(50)	33	(25)
非製造業		33	(41)	33	(37)	36	(45)

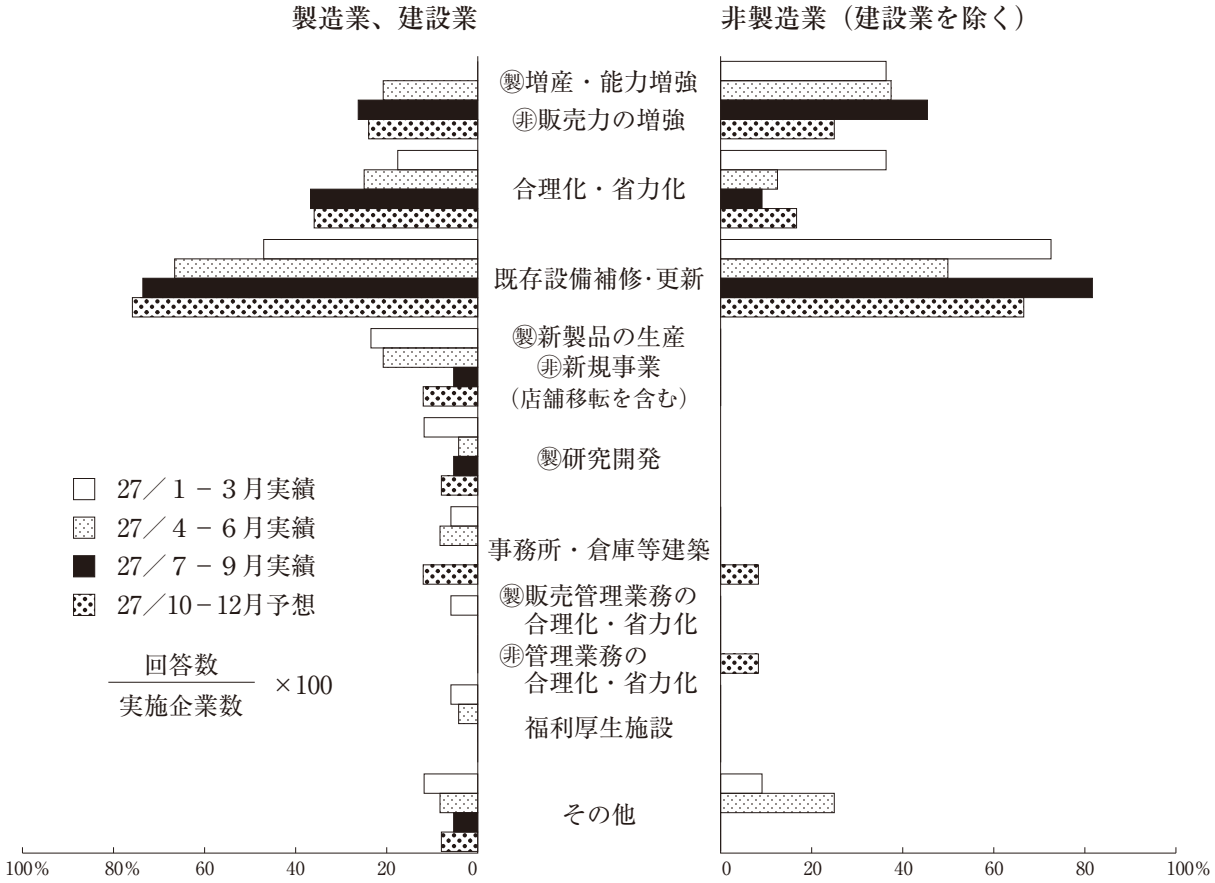
製造業	27年7～9月	実施割合	前年同期実績比　10ポイント減少(57%→47%) 上昇する業種：電気機械、食料品、窯業・土石 低下する業種：木材・木製品、金属・機械など
		投資目的	1 補修・更新　74%(前年同期　54%) 2 合理化・省力化　37%(　同　21%) 3 増産・能力増強　26%(　同　29%)
	27年10～12月	計画割合	前年同期実績比　11ポイント増加(49%→60%) 上昇する業種：窯業・土石、食料品、電気機械 低下する業種：紙・紙加工品、印刷・その他など
		投資目的	1 補修・更新　76%(前年同期　58%) 2 合理化・省力化　36%(　同　27%) 3 増産・能力増強　24%(　同　27%)
非製造業	27年7～9月	実施割合	前年同期実績比　4ポイント減少(37%→33%) 上昇する業種：運輸業、卸売業 低下する業種：旅館・ホテル、建設業、小売業
		投資目的	1 補修・更新　82%(前年同期　92%) 2 販売力の増強　45%(　同　42%) 3 合理化・省力化　9%(　同　33%)
	27年10～12月	計画割合	前年同期実績比　9ポイント減少(45%→36%) 上昇する業種：小売業、旅館・ホテル 低下する業種：建設業、運輸業、卸売業
		投資目的	1 補修・更新　67%(前年同期　69%) 2 販売力の増強　25%(　同　15%) 3 合理化・省力化　17%(　同　23%)

注：投資目的は複数回答、構成比。建設業は製造業に含む。

図－13　設備投資実施企業の割合の推移



図－14　産業別設備投資の目的（複数回答、構成比）



11　経営上の問題点……製造業、非製造業ともに「売上･受注の減少」が上位

平成27年7～ 9月：経営上の問題点（大きいものから2項目選択）の上位5項目（全産業）は前回調査時と同様になった。

一番多かったのは「売上・受注の減少」で41ポイント（製造業では31ポイントの1位、非製造業は53ポイントの1位）。

平成27年10～12月：上位5項目（全産業）は7～9月と同様。

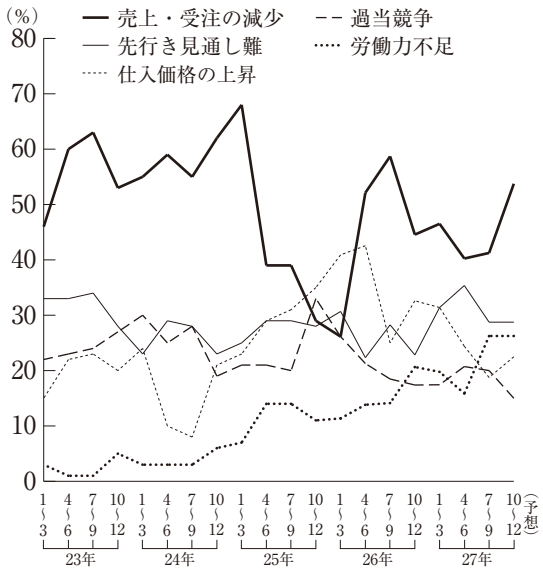
一番多かったのは「売上・受注の減少」+13ポイント（製造業：+14ポイント、非製造業：+10ポイント）。

経営上の問題点（上位項目）　（単位：%）

		問題点	27年 4～6月	27年 7～9月	27年 10～12月 予想
全産業	1	売上・受注の減少	40	41	54
	2	先行き見通し難	35	29	29
	3	労働力不足	16	26	26
	4	過当競争	21	20	15
	5	仕入価格の上昇	24	19	23
製造業	1	売上・受注の減少	35	31	45
	1	先行き見通し難	37	31	29
	3	過当競争	17	26	19
	4	仕入価格の上昇	20	21	24
	4	労働力不足	15	21	19
非製造業	1	売上・受注の減少	47	53	63
	2	労働力不足	17	32	34
	3	先行き見通し難	33	26	29
	4	仕入価格の上昇	31	16	21
	5	過当競争	25	13	11

注：上位2項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

図－15　経営上の問題点（上位項目）



表－１　業種別　業況判断 ＢＳＩ

期 / 判断 / 業種	27年4～6月実績				27年7～9月実績				27年10～12月予想			
	A 好転	B 不変	C 悪化	ＢＳＩ (A－C)/2	A 好転	B 不変	C 悪化	ＢＳＩ (A－C)/2	A 好転	B 不変	C 悪化	ＢＳＩ (A－C)/2
全産業	37	36	27	4.9	30	40	30	0.0	24	37	39	▲ 7.6
食料品	57	43	0	28.6	50	40	10	20.0	40	50	10	15.0
繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品	0	25	75	▲37.5	0	50	50	▲25.0	0	50	50	▲25.0
紙・紙加工品	33	67	0	16.7	50	0	50	0.0	0	0	100	▲50.0
窯業・土石	40	20	40	0.0	0	40	60	▲30.0	20	20	60	▲20.0
金属・機械	36	27	36	0.0	50	40	10	20.0	20	30	50	▲15.0
電気機械	30	40	30	0.0	17	50	33	▲ 8.3	50	33	17	16.7
印刷・その他	33	50	17	8.3	29	43	29	0.0	14	29	57	▲21.4
製造業	35	37	28	3.3	33	41	26	3.6	26	33	41	▲ 7.2
建設業	33	50	17	8.3	38	38	25	6.3	13	50	38	▲12.5
卸売業	29	36	36	▲ 3.6	27	33	40	▲ 6.7	7	47	47	▲20.0
小売業	57	43	0	28.6	14	43	43	▲14.3	67	0	33	16.7
運輸業	80	0	20	30.0	40	40	20	10.0	40	40	20	10.0
旅館・ホテル	0	33	67	▲33.4	0	67	33	▲16.7	0	67	33	▲16.7
非製造業	40	34	26	7.2	26	40	34	▲ 4.0	22	41	38	▲ 8.1

表－２　業種別　売上高 ＢＳＩ

期 / 判断 / 業種	27年4～6月実績				27年7～9月実績				27年10～12月予想			
	A 増加	B 不変	C 減少	ＢＳＩ (A－C)/2	A 増加	B 不変	C 減少	ＢＳＩ (A－C)/2	A 増加	B 不変	C 減少	ＢＳＩ (A－C)/2
全産業	35	39	26	4.9	23	43	34	▲ 5.3	19	38	43	▲11.8
食料品	67	0	33	16.7	50	50	0	25.0	17	67	17	0.0
繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品	33	33	33	0.0	0	50	50	▲25.0	0	50	50	▲25.0
紙・紙加工品	0	100	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
窯業・土石	50	0	50	0.0	0	67	33	▲16.7	0	33	67	▲33.4
金属・機械	33	50	17	8.3	50	33	17	16.7	17	17	67	▲25.0
電気機械	33	45	22	5.6	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
印刷・その他	33	33	33	0.0	0	40	60	▲30.0	20	0	80	▲30.0
製造業	37	37	27	5.0	31	46	23	3.9	19	35	46	▲13.5
建設業	25	50	25	0.0	0	60	40	▲20.0	20	40	40	▲10.0
卸売業	44	33	22	11.1	27	27	46	▲ 9.1	9	45	46	▲18.2
小売業	20	60	20	0.0	0	67	33	▲16.7	67	0	33	16.7
運輸業	100	0	0	50.0	0	0	100	▲50.0	0	100	0	0.0
旅館・ホテル	0	50	50	▲25.0	0	0	100	▲50.0	0	100	0	0.0
非製造業	33	43	24	4.8	14	38	48	▲16.7	19	43	38	▲ 9.6

表－３　業種別 経常利益 ＢＳＩ

業種＼期＼判断	27年4～6月実績				27年7～9月実績				27年10～12月予想			
	A 増加	B 不変	C 減少	ＢＳＩ (A－C)/2	A 増加	B 不変	C 減少	ＢＳＩ (A－C)/2	A 増加	B 不変	C 減少	ＢＳＩ (A－C)/2
全産業	37	35	28	4.3	32	38	30	1.3	26	44	31	▲ 2.6
食料品	71	29	0	35.7	40	40	20	10.0	50	40	10	20.0
繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品	0	50	50	▲25.0	0	50	50	▲25.0	0	50	50	▲25.0
紙・紙加工品	100	0	0	50.0	50	0	50	0.0	0	50	50	▲25.0
窯業・土石	50	25	25	12.5	20	40	40	▲10.0	20	20	60	▲20.0
金属・機械	36	27	36	0.0	40	40	20	10.0	20	40	40	▲10.0
電気機械	30	40	30	0.0	33	33	33	0.0	17	50	33	▲ 8.3
印刷・その他	50	33	17	16.7	17	17	67	▲25.0	17	17	67	▲25.0
製造業	44	31	24	10.0	32	34	34	▲ 1.2	24	37	39	▲ 7.3
建設業	33	50	17	8.3	38	50	13	12.5	13	63	25	▲ 6.3
卸売業	7	40	53	▲23.3	27	33	40	▲ 6.7	13	60	27	▲ 6.7
小売業	57	43	0	28.6	14	71	14	0.0	43	29	29	7.2
運輸業	60	20	20	20.0	80	20	0	40.0	80	20	0	40.0
旅館・ホテル	0	33	67	▲33.4	0	50	50	▲25.0	0	100	0	0.0
非製造業	28	39	33	▲ 2.8	32	43	24	4.1	27	51	22	2.7

表－４　業種別 販売価格ＢＳＩ

業種＼期＼判断	27年4～6月実績				27年7～9月実績				27年10～12月予想			
	A 上昇	B 不変	C 低下	ＢＳＩ (A－C)/2	A 上昇	B 不変	C 低下	ＢＳＩ (A－C)/2	A 上昇	B 不変	C 低下	ＢＳＩ (A－C)/2
全産業	16	72	11	2.5	17	66	17	0.0	17	63	20	▲ 1.3
食料品	43	57	0	21.5	40	60	0	20.0	40	60	0	20.0
繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
木材・木製品	25	25	50	▲12.5	0	0	100	▲50.0	0	0	100	▲50.0
紙・紙加工品	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	50	50	▲25.0
窯業・土石	0	80	20	▲10.0	20	40	40	▲10.0	0	40	60	▲30.0
金属・機械	18	73	9	4.5	0	80	20	▲10.0	0	70	30	▲15.0
電気機械	0	90	10	▲ 5.0	0	100	0	0.0	17	83	0	8.4
印刷・その他	0	100	0	0.0	0	57	43	▲21.4	0	57	43	▲21.4
製造業	13	76	11	1.1	12	67	21	▲ 4.8	12	60	29	▲ 8.4
建設業	0	83	17	▲ 8.4	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
卸売業	36	57	7	14.3	46	31	23	11.6	31	46	23	3.9
小売業	29	57	14	7.2	29	57	14	7.2	29	71	0	14.3
運輸業	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	40	60	0	20.0
旅館・ホテル	0	67	33	▲16.7	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
非製造業	20	69	11	4.3	24	65	12	5.9	24	68	9	7.4

表－５　業種別 仕入価格 ＢＳＩ

業種＼期・判断		27年4～6月実績				27年7～9月実績				27年10～12月予想			
		A 上昇	B 不変	C 低下	BSI (A－C)/2	A 上昇	B 不変	C 低下	BSI (A－C)/2	A 上昇	B 不変	C 低下	BSI (A－C)/2
全産業		33	58	9	12.0	35	53	12	11.7	33	56	12	10.4
	食料品	71	29	0	35.7	70	30	0	35.0	80	20	0	40.0
	繊維・縫製	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0	0	0	0	0.0
	木材・木製品	33	67	0	16.7	50	50	0	25.0	50	50	0	25.0
	紙・紙加工品	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	窯業・土石	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0	0	100	0	0.0
	金属・機械	9	82	9	0.0	20	60	20	0.0	20	60	20	0.0
	電気機械	50	50	0	25.0	17	83	0	8.4	0	83	17	▲ 8.4
	印刷・その他	40	60	0	20.0	29	71	0	14.3	29	71	0	14.3
製造業		32	66	2	14.8	31	64	5	13.1	31	62	7	12.0
	建設業	50	50	0	25.0	57	43	0	28.6	43	57	0	21.5
	卸売業	43	50	7	17.9	50	36	14	17.9	36	50	14	10.7
	小売業	29	57	14	7.2	14	71	14	0.0	29	71	0	14.3
	運輸業	0	20	80	▲40.0	20	0	80	▲30.0	0	20	80	▲40.0
	旅館・ホテル	33	67	0	16.7	50	50	0	25.0	100	0	0	50.0
非製造業		34	49	17	8.6	40	40	20	10.0	34	49	17	8.6

表－６　経営上の問題点（上位項目）

（単位：％）

		問題点	23年			24年				25年				26年				27年			
			Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ予想
製造業	1	売上･受注の減少	64	65	43	60	50	48	55	62	35	35	35	26	44	51	39	40	35	31	45
	1	先行き見通し難	32	33	27	19	36	31	32	36	38	36	37	34	25	29	29	34	37	31	29
	3	過当競争	22	22	18	23	18	23	13	15	19	18	24	22	15	12	14	10	17	26	19
	4	仕入価格の上昇	22	22	24	23	11	10	21	23	27	29	31	48	40	33	39	28	20	21	24
	4	労働力不足	0	0	6	0	2	4	6	6	12	13	12	6	10	10	16	18	15	21	19
	6	販売価格の低下	14	14	22	29	23	19	17	19	15	16	16	20	15	14	14	10	11	14	19
	7	諸経費の増加	12	12	16	13	18	19	17	19	10	9	12	12	21	10	18	14	13	12	7
	8	為替相場の変動	8	8	10	6	7	4	6	6	13	13	8	10	4	12	10	6	9	10	10
非製造業	1	売上･受注の減少	56	61	63	50	70	63	71	75	43	43	23	26	62	67	51	56	47	53	63
	2	労働力不足	3	3	3	0	4	3	7	8	16	15	9	18	19	19	26	22	17	32	34
	3	先行き見通し難	33	15	29	31	21	25	12	13	18	20	18	26	19	28	16	28	33	26	29
	4	仕入価格の上昇	22	12	15	19	9	5	21	23	32	33	41	32	45	16	26	36	31	16	21
	5	過当競争	25	24	35	23	34	35	26	28	23	22	43	32	29	26	21	28	25	13	11
	6	人件費の増加	11	15	8	10	9	5	10	10	14	13	7	8	2	9	5	6	6	11	5
	6	諸経費の増加	8	27	27	13	9	10	5	5	11	11	16	13	10	14	9	8	8	11	8
	6	資金繰り難	14	9	10	6	11	15	10	10	16	15	9	13	2	7	5	11	8	11	11

注：上位２項目の複数回答、回答数÷企業数（回答なしを含む）

2015年冬季ボーナス支給（予定）に関するアンケート調査結果

【調査結果要旨】

■2015年冬季ボーナス支給（予定）について、製造業、非製造業ともに「支給する」と回答した企業が最も多かった。
■2014年冬季と比較した場合の増減については、製造業では「増加」、非製造業では「昨年と同じ」と回答した企業が最も多かった。また、製造業、非製造業とも「減少」と回答した企業は少なかった。
■ボーナス支給の可否や支給額の決定に関わる要因については「自社の業績」と回答した企業が最も多かった。
■ボーナスの支給対象者については、非製造業は製造業に比べ「正社員のみ」と回答した割合が高かった。

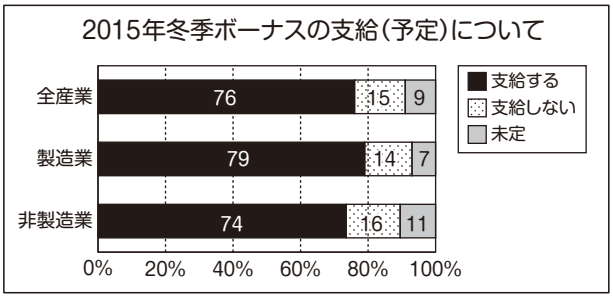
【調査概要】
調査方法　郵送・持参によるアンケート方式
調査対象　鳥取県内企業207社｛有効回答80社（製造業42社、非製造業38社）、有効回答率38.6%｝
調査時期　平成27年11月中旬～ 12月中旬
調査内容　「2015年冬季ボーナス支給（予定）に関する状況」
1. 2015年冬季ボーナス支給の有無について
2. 2014年冬季ボーナス支給との比較（増減）
3. ボーナス支給の可否や支給額の決定に関わる要因
4. ボーナスの支給対象者、支給額、資金の調達方法について

1. 2015年冬季ボーナス支給の有無について

(%)

業種＼判断	支給する	支給しない	未定
全産業	76	15	9
食料品	89	0	11
繊維・縫製	—	—	—
木材・木製品	100	0	0
紙・紙加工品	100	0	0
窯業・土石	40	40	20
金属・機械	100	0	0
電気機械	83	17	0
印刷・その他	43	29	29
製造業	79	14	7
建設業	63	13	25
卸売業	87	7	7
小売業	57	29	14
運輸業	80	20	0
旅館・ホテル	67	33	0
非製造業	74	16	11

調査時点で各事業所の冬季ボーナス支給の有無は、回答企業全体（以下全体）で「支給する」が76%、「支給しない」が15%、「未定」が9%となった。
業種別でみると、製造業では、「支給する」企業が79%であったが、非製造業では、「支給する」企業が74%と、非製造業は、製造業よりも「支給する」と回答した割合が僅かに低かった。

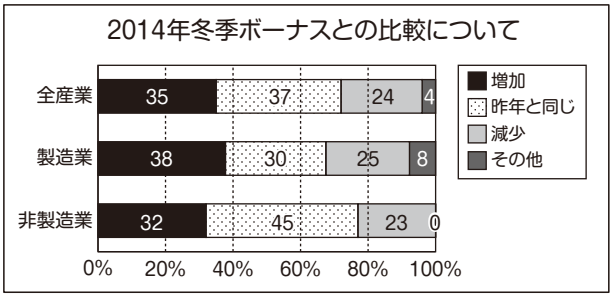


2. 2014年冬季ボーナス支給との比較（増減）

(%)

業種＼判断	増加	昨年と同じ	減少	その他
全産業	35	37	24	4
食料品	60	30	10	0
繊維・縫製	—	—	—	—
木材・木製品	50	0	50	0
紙・紙加工品	0	50	50	0
窯業・土石	50	25	25	0
金属・機械	50	20	30	0
電気機械	17	67	17	0
印刷・その他	0	17	33	50
製造業	38	30	25	8
建設業	17	50	33	0
卸売業	38	31	31	0
小売業	0	80	20	0
運輸業	75	25	0	0
旅館・ホテル	33	67	0	0
非製造業	32	45	23	0

2014年冬季ボーナス支給との比較（増減）については、全体では、「昨年と同じ」が37%で最も高く、次に「増加」35%、「減少」24%だった。
業種別でみると、製造業では、「増加」が最も高く、非製造業では、「昨年と同じ」が最も高かった。製造業、非製造業ともに「その他」を除き、「減少」が最も低かった。



3. ボーナス支給の可否や支給額の決定に関わる要因

(%)

項目	全産業	製造業	非製造業
自社の業績	97	98	97
昨冬の支給実績	26	27	24
同業他社との比較	6	10	3
県内の平均支給額	1	0	3
同規模企業との比較	1	2	0
国内の平均支給額	1	2	0
政府による賃上げ要請	0	0	0
その他	4	7	0

ボーナス支給の可否や支給額の決定に関わる要因（複数回答）については、全体で、「自社の業績」が97%と最も高く、次いで「昨冬の支給実績」26%、「同業他社との比較」6%となった。

製造業では、「自社の業績」98%と最も高く、次いで「昨冬の支給実績」27%、「同業他社との比較」10%、「その他」7%、「同規模企業との比較」2%、同率で「国内の平均支給額」2%となった。

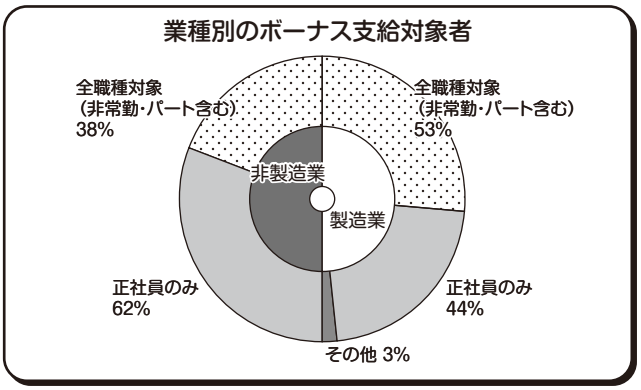
非製造業では、「自社の業績」が97%と最も高く、次いで「昨冬の支給実績」24%、「同業他社との比較」3%、同率で「県内の平均支給額」3%となった。

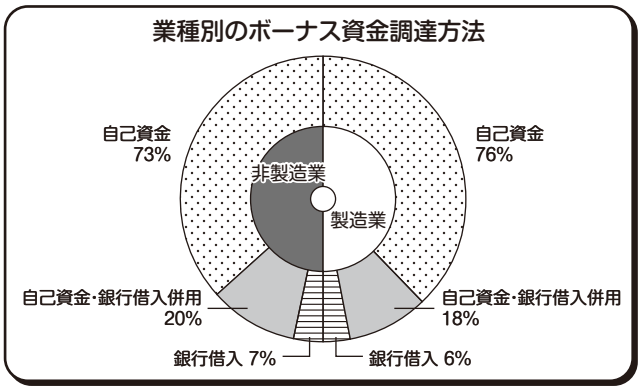
4. ボーナスの支給対象者、支給額、資金の調達方法について

○ボーナスの支給対象者、資金の調達方法について

支給対象者について、製造業では、「全職種対象（非常勤・パート含む）」が53%と最も高く、「正社員のみ」は44%だった。非製造業では、「正社員のみ」が62%と最も高く、「全職種対象（非常勤・パート含む）」が38%だった。

資金の調達方法については、製造業、非製造業ともに「自己資金」が70%を超え、最も高かった。2番目以降について、製造業では、「自己資金・銀行借入併用」18%、「銀行借入」6%だった。非製造業では、「自己資金・銀行借入併用」20%、「銀行借入」7%だった。

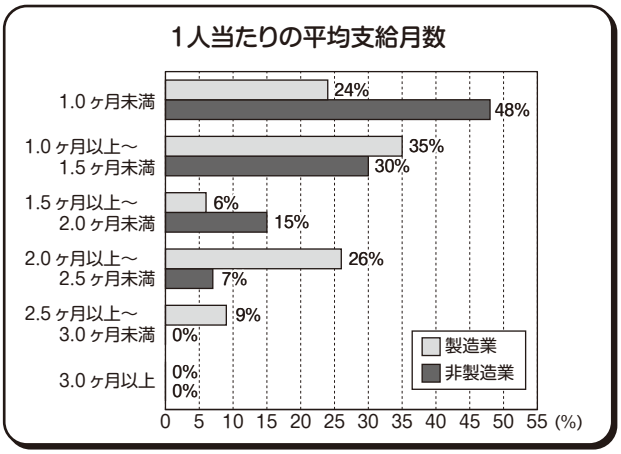


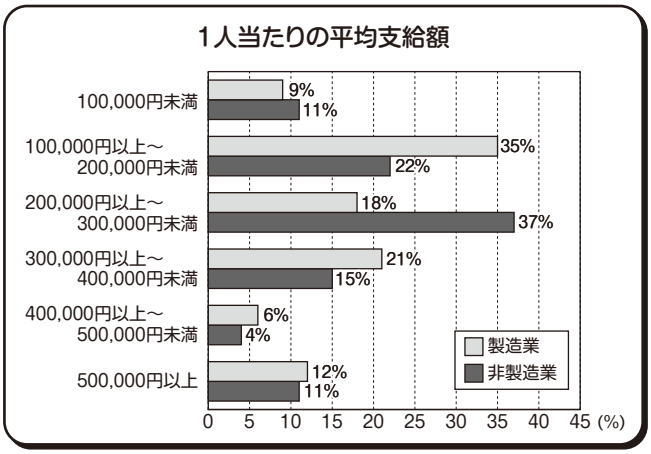


○ボーナスの支給（予定）額について

1人当たりの平均支給月数において、製造業は、「1.0ヶ月以上～1.5ヶ月未満」が35%と最も高く、次いで「2.0ヶ月以上～2.5ヶ月未満」26%、「1.0ヶ月未満」24%だった。非製造業は、「1.0ヶ月未満」が48%と最も高く、次いで「1.0ヶ月以上～1.5ヶ月未満」30%、「1.5ヶ月以上～2.0ヶ月未満」15%だった。

1人当たりの平均支給額において、製造業は、「100,000円以上～200,000円未満」が35%と最も高く、次いで「300,000円以上～400,000円未満」21%、「200,000円以上～300,000円未満」18%だった。非製造業では、「200,000円以上～300,000円未満」が37%と最も高く、次いで「100,000円以上～200,000円未満」22%、「300,000円以上～400,000円未満」15%だった。

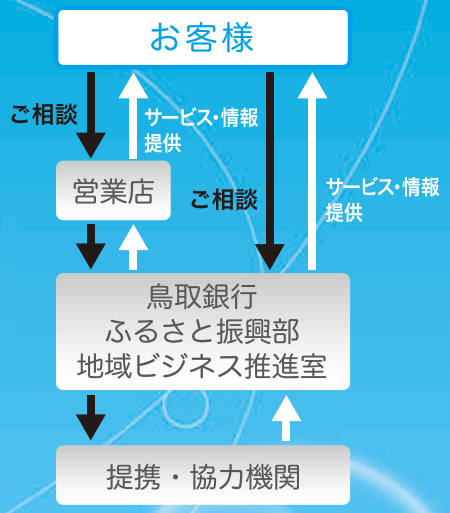




以　上

とりぎん海外ビジネスサポート

鳥取銀行では、海外展開を検討されているお客様に対して、各分野の専門機関や公的機関と連携してサポートを行い、海外ビジネスの様々なニーズにお応えしてまいります。
海外ビジネスのご相談は鳥取銀行までお気軽にお問い合わせください。



ご相談内容

- ☑ 自社製品の海外販路を開拓したい
- ☑ 海外の企業へ製造を委託したい
- ☑ 海外に現地法人の設立を検討している
- ☑ 海外の最新情報や法規制を知りたい など

専門機関をご紹介しアドバイスいたします

各種専門機関・公的機関のご紹介

三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株)
(現地法人設立、販路拡大、市場調査等の海外進出支援など)

大和証券(株)
(アジア進出のコンサルティング業務など)

損害保険会社 (株)損害保険ジャパン、東京海上日動火災保険(株)、三井住友海上火災保険(株)
(海外リスク情報、リスクマネジメントサービスの提供など)

(独)日本貿易振興機構(ジェトロ)
(海外展開の各種相談、展示会出展支援など)

(独)中小企業基盤整備機構
(海外展開の各種相談、展示会出展支援など)

(株)日本政策投資銀行(DBJ)アジア金融支援センター
(海外企業とのビジネスマッチング、海外進出相談など)

※支援機関によって一部有料のサービスもございますので、個別にご相談ください。

TOTTORI BANK 青い鳥の銀行です。 鳥取銀行

ふるさと振興部
地域ビジネス推進室 TEL 0857-37-0274

発行 鳥取銀行 ふるさと振興部
くらしと経営相談所
㊐680-8686 鳥取市永楽温泉町171番地
TEL 0857−37−0220

R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています